

理 念



21 世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「おおむらさき」の生息している、美しい自然を起点として、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。

環境方針

■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電力、上水道、ガス、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。

■グリーン購入を進めます。

■広大な社有林の管理に努めます。

農薬の使用場所を限定し、社有林内では使わない。

間伐を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で防ぎ、後世に赤松林を残します。

「おおむらさき」の保全をおこない、観察会等を実施し地域に公開します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2015 年 1 月 1 日改訂

2004 年 11 月 15 日制定

松山株式会社

取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加
■調整池の水質を浄化し富養化をふせぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。
- 2015年1月1日 “古着・古毛布と集め、再利用します。”を削除した。

事業の概要

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155
物流センター 長野県上田市塩川 2949
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所 北海道旭川市永山北 1 条 8 丁目 32
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18 番 10
東北営業所 宮城県大崎市古川清水 3 丁目石田 24 番 11
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3
長野営業所 長野県上田市塩川 2949
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 総務部長 小崎 浩
担当者 総務部総務課 岩瀬 吉輝
連絡先 TEL 0268-42-7500
FAX 0268-42-7520

④ 事業の内容

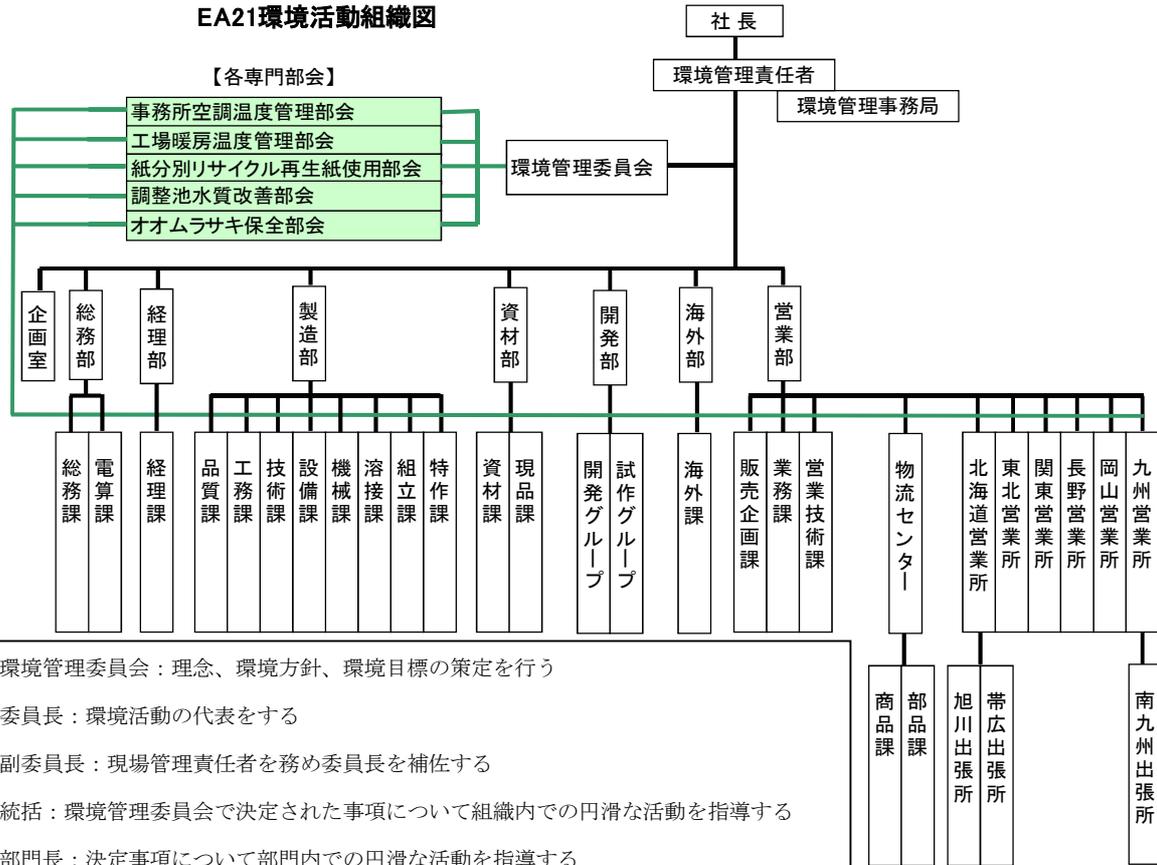
農業機械の開発、設計、製造、販売

⑤ 事業の規模

製品出荷額 177 億円
全従業員数 323 名
EA21 対象人数 323 名
本社工場延べ床面積 19,966 m²
北海道営業所 1,638 m²、旭川出張所 977 m²、帯広出張所 420 m²、
東北営業所 3,861 m²、関東営業所 1,576 m²、長野営業所・物流センター 4,391 m²、
岡山営業所 865 m²、九州営業所 5,387 m²、南九州出張所 584 m²

EA21 推進体制

EA21環境活動組織図



環境管理委員会：理念、環境方針、環境目標の策定を行う
 委員長：環境活動の代表をする
 副委員長：現場管理責任者を務め委員長を補佐する
 統括：環境管理委員会決定された事項について組織内での円滑な活動を指導する
 部門長：決定事項について部門内での円滑な活動を指導する
 営業所、出張所長：決定事項について営業所、出張所内での円滑な活動を指導する
 事務局：環境管理委員会の事務を行う
 環境管理委員会専門部会：環境管理委員会決定された計画を実施する

環境管理委員会

委員長	取締役社長 松山 信久
副委員長	総務部長 小崎 浩

事務局	総務課長 清水 信男
	総務課係長 森 史彦
	総務課 岩瀬 吉輝

統括	専務取締役 清水 英一
総務部	総務部長 小崎 浩
資材部	資材部長 田中 計宏
海外・営業部	取締役営業部長兼海外部長 山下 祐二
開発部	取締役開発部長 村山 生夫
経理部	取締役経理部長 大池 賢治
製造部	製造部長 徳武 雅彦

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務部長 小崎 浩
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	機械課長兼特作課長 田中 栄治
部会名	紙分別リサイクル再生紙使用部会
部会長	工務課係長 佐藤 友治

部会名	調整池水質改善部会
部会長	設備課長 北村 正彦
部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課係長補佐 山浦 淳一

活動対象範囲

- ① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター（全組織）
 ② レポートの対象期間 2015年1月1日～2015年12月31日

実績（全組織）

環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単 位	2015年度 実績	2014年度 実績	2013年度 実績
二酸化炭素排出量 の削減	電気使用量	kwh	2,073,437	2,243,455	2,421,362
		前年比	-7.6%	-7%	2%
	ガス使用量	t	279	309.37	309
		前年比	-9.8%	0%	2%
	灯油使用量	kℓ	81.08	102.83	101
		前年比	-21%	2%	-3%
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,270,888	2,486,524	2,581,910
		前年比	-8.7%	-4%	2%
廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量	kg	4,878.6	5,036.8	5,416
		前年比	-3.1%	-7%	7%
	鉄粹回収量	t	477	537	553
		前年比	-11%	-3%	19%
総排水量の削減	上水道使用量	t	12,710	13,820	15,359
		前年比	-8%	-10%	14%
化学物質(PRTR 制 度対象物質)の適正 管理	エチルベンゼン取扱 量	kg	4,278	4,654	5,628
		前年比	-8%	-17%	7%
	キシレン取扱量	kg	7,659	8,382	10,556
		前年比	-8.6%	-21%	10%
	トルエン取扱量	kg	1,108	1,239	1,550
		前年比	-11%	-20%	3%

環境目標とその実績（本社工場）

当社は以下に記載の目標を掲げて環境活動に取り組んできました。

主要な環境目標と環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2015 年度		2014 年度	2013 年度
			目標	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力(購入)使用量	kwh	1,973,327	1,810,995	1,973,327	2,128,670
		前年比	維持	-8.2%	-7.3%	2.7%
	ガス使用量	t	299	269	299	298
		前年比	維持	-10%	0.3%	2.5%
	灯油使用量	kℓ	73.4	58.1	73.4	70.6
		前年比	維持	-20.8%	4%	-14.3%
	ガソリン使用量	ℓ	35,460	31,869	36,184	37,876
		前年比	2% 削減	-22%	-4.5%	—
軽油使用量	ℓ	37,370	41,447	38,133	41,854	
	前年比	2% 削減	8.7%	-8.9%	—	
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.455 kg-CO ₂ /Kwh: 中部電力 H20 年)	kg-CO ₂	—	1,978,162	2,181,272	2,256,907
		前年比	—	-9.3	-3.4%	0.7%
廃棄物排出量の削減	燃やすしかないゴミの焼却量*	kg	6,810	6,850	6,810	7,170
		前年比	維持	0.6%	-5%	0.1%
	紙(帳票)使用量	kg	280	280	280	280
		前年比	維持	0%	0%	0%
	紙(コピー用紙)使用量	kg	2,842	2,729	2,842	3,170
		前年比	維持	-4%	-10%	5.4%
	鉄粹回収量	t	537	477	537	553
		前年比	維持	-11%	-3%	19%
総排水量の削減	上水道使用量	t	11,620	10,899	11,858	11,887
		前年比	2% 削減	-8%	-0.2%	3.9%
化学物質 (PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	kg	4,654	4,278	4,654	5,628
		前年比	維持	-8%	-17%	7.2%
	キシレン取扱量	kg	8,382	7,659	8,382	10,556
		前年比	維持	-8.6%	-21%	9.8%
	トルエン取扱量	kg	1,239	1,108	1,239	1,550
		前年比	維持	-11%	-20%	3.4%

*長野営業所、及び物流センターの排出量込

2015年環境活動計画の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動計画の内容	取組み結果	担当部門
環境保全型農業の支援	1 資源の有効活用①	<p>日農工でAGポートというトラクタと作業機間の通信についての規格化が進められ、その規格に対応して車速連動できる搭載型シーダーUF-Aシリーズ、スリップローラーシーダーSRA-Aシリーズを製品化した。</p> 	開発部
	2 資源の有効活用②	<p>農薬散布と同時に耕耘を行う複合作業による省エネ化、モータ回転制御によるロール繰り出しによる高精度散布及び新拡散板方式による薬剤の飛散防止が可能となったロータリーソーワを製品化した。</p> 	開発部
	3 廃棄物排出量の削減	<p>製品を置く鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。</p>	営業部
	4 低燃費 (CO ₂ 排出量削減) ①	<p>GPSを利用して作業を行った場所の把握を行い作業効率を上げる研究をしている。</p>	
	5 低燃費 (CO ₂ 排出量削減) ②	<p>現行ロータリーに比べて、2番穂が伸びる地区において、すき込み性能を高めたことで耕耘回転を低減させることが可能なグランドロータリーを製品化した。</p> 	開発部
	【評価】トラクタとの車速連動対応、GPSを利用した効率向上などの研究を行って環境保全型農業への貢献を目指している。		
電力使用量の削減(前年維持)	1 省エネパトロールの実施	<p>6回実施し、不必要な電気の消灯、使用していない機械の電源オフ、整理整頓等の指導をした。</p>	製造部
	2 デマンド管理	<p>デマンド装置を設置して夏季ピーク時間調整契約電力(通常時の80%)を越えそうな時は警報が鳴り、決められた機器・電気類を停止した。</p>	
	3 電灯のLED化	<p>事務所内及び工場の一部の照明をLEDにしている。記念館分館のトイレにセンサー式のLEDを設置している。</p>	総務部
	4 再生可能エネルギーの利用	<p>太陽光発電システム(100kw)を導入し、本社工場にて使用している。</p>	

二酸化炭素排出量の削減	5ライトダウンキャンペーンに参加	全国地球温暖化防止活動推進センターのキャンペーン'CO2削減/ライトダウンキャンペーン'に参加した。6月19日、7月7日をノー残業デーとし、6月28日は家庭でライトダウン(夜8時~10時)を行った。	総務部
	【評価】前年比8.2%の減少。夏季ピーク時間調整契約電力(通常時の80%)を7~9月全て契約電力内で抑える事が出来た。		
ガス及び灯油使用量の削減(前年維持)	1温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類ずつ)を作成し事務所に掲示を行い社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。 	事務所空調温度 管理部会
	2送風機の活用	会議室、営業部にて暖かい空気が循環するように送風機を併用した。	
	3ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ活動の基礎データにした。	
	【評価】ガス10%の減少。事務所のGHPエアコン用のガス使用量はほぼ昨年並み為、しかし、生産高が7割ほどに減少しているので工場の塗装乾燥用に使用しているガスの使用量が減少したと考えられる。		
	1温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会
	2温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。	
	3シートシャッターの活用	冬場はインターロック機構を設定し、手前のシャッターが閉じなければ奥のシャッターが開かない様にしている。	製造部
【評価】灯油20.8%の減少。暖冬の影響で使用量が大幅に減少したと考えられる。			
ガソリン及び軽油の使用量削減(前年比2%削減)	1安全運転の推進	交通安全運動の呼びかけ、運転記録証明により該当者への指導、安全職場への表彰等啓発活動を行った。	総務部
	2安全講和の実施	NPO法人佐久平総合リハビリセンター代表中村 崇先生に來社していただき、健康管理について講演していただきました。	総務部
【評価】ガソリンが11.9%の減少したが、軽油が8.7%の増加となってしまった。開発部でのトラック使用が増加したためと考えられる。安全運転への呼びかけを強め、燃費向上に取り組みたい。			
生産効率の向上	1ピッキングシステムの導入	収穫機生産においてピッキングシステムを導入し、品揃え時の作業時間短縮と品質確保を実現した。	製造部
	2時期生産システムの導入	プロジェクトを立ち上げ、新しいシステムを構築して生産現場の効率化、原価システムの見直し、リードタイムの短縮、外注管理のレベルアップ、原価低減、物流システムの見直しなどを目指す。	総務部
	【評価】生産効率の向上により、工場稼働時間の削減による燃料使用の減少や二酸化炭素排出抑制に期待したい。		

廃棄物の削減	燃やすしかないゴミの削減 (前年維持)	1紙分別を行う	業者の基準に従い紙の分別をし、再生可能な物は業者の再生工場へ回して貰った。	サ 紙 部 イ 分 会 ク 別 ル リ	
		2ゴミゼロ運動に参加	社員33名にて周辺 公共道路のゴミ拾い を行った。 (5月30日)		総務部
		【評価】0.6%の増加。生産量が下がったが増加してしまっただけ。分別について再徹底を行っていきたい。			
	紙の効率的な使用	1必要部数のみの出力、裏紙の再利用	裏紙用プリンターと両面用プリンターを分けて、必要に応じた使い分けをしている。	各 部 所	
		2複合機の活用	印刷機能とファックスを兼ね備えた複合機を使用しており、ファックスはデータとして蓄積される為、必要な物のみを紙に印刷をしている。		
	3iPadの活用	営業所員にiPadを貸与し、一時的に製品カタログを見たいだけのお客様にはiPad上でお見せしている。	営 業 所		
【評価】重量で4%の削減。枚数で3%の削減となった。紙の効率的な使用についてはある程度定着してきた。					
調整池富栄養化防止		1水質検査	定期的に実施している。	製 造 部	
【評価】富栄養化は工場排水に原因がある場合が多いと言われている。水質検査の数値を分析し、防止につなげて行きたい。					
総排水量の削減	上水道量の削減(前年比2%減)	1雨水利用	1,000ℓタンク2ヶの雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総 務 部	
		2漏水チェック	休日等社内に人がいない状況を見計らって、水道メーターが動いていないのを確認した。		
		【評価】8%の削減。全員が日常の使用において意識を変えることができてきた結果である。			
グリーン購入の推進		1エコマーク・再生材商品の購入推進	エコマーク商品・グリーン購入法適合商品を優先して購入している。	総 務 部	
【評価】近年、購入対象商品の多くが環境に配慮した物なので、それ程気を遣わなくて良くなってきている。					
社有林管理	1伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を用いて、木工作家に椅子やテーブルを作成して貰っている。また状態の悪いものは暖房として薪ストーブで燃やした。		総 務 部	
	2松枯れ防止樹幹注入施工	65本の松に薬剤を注入した。			

	【評価】社有林の管理について識者から良い評価を頂いている。里山として適度に手を入れていきたい。		
国蝶「オオムラサキ」の 生育環境保全 (乱舞を夢見て)	1 肥培管理の実施	植栽したエノキ、キハダ、ブツレアに肥料を施した。	オオムラサキ保
	2 羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの個体数調査を実施した。	
	3 「エノキ」の実生の調査	社員有志にて社有林内の実生(みしょう)のエノキや残したいクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(7月と9月に実施)	
	4 観蝶会の実施	第8回オオムラサキ観蝶会を7月18日に実施し周辺住民41名が来社した。 	総務部
	5 上田創造館主催おおむらさき観察会の協力	”おもしろ科学少年団”のイベントでオオムラサキ観察会が7月11日に催され社有林を会場として提供した。小学生14人と保護者の方が来社した。 	
	【評価】観蝶会は天候不良のため来場者が少なくなりました。今年も上田創造館より会場提供のお願いがあった。今後も協力していきたい。		
環境上の緊急事態への 準備および対応	1 複合防災訓練の実施	地震・火災時の避難訓練、消火訓練と環境負荷の災害を想定して防災訓練を10月8日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。 	総務部
	2 営業所・出張所の災害時電源確保の対応	災害時におけるコンピューター関係の電源確保の為、全ての営業所と出張所に非常用電源を設置している。	
	3 営業所災害時対応備蓄物資の準備	当社では東北営業所、関東営業所が地震の懸念される地域の為、2営業所について発生直後から3日間は営業所に対応できるように物資の備蓄している。	
	4 AEDの設置	本社、長野営業所・物流センターにAEDを設置している。	

	5 消火器の更新	規格が変更したことをふまえ、16本更新をした。	
	【評価】大地震などの災害に対する体制が構築されてきた。今後も物資の備蓄などを見直していきたい。		
団体への支援	1 小学生への環境活動の紹介	工場見学に訪れた小学生に対してオオムラサキの保護や社有林の管理等、環境保全活動について説明をした。また天気の良い日には遊歩道に案内をして里山体験してもらった。	総務部
	2 キッズISOプログラム事業への協力	ワークブックを児童に配布し、環境プログラムを実践させる長野県「キッズISOプログラム事業」に引き続き協力をした。	
	【評価】9校の小学校が来社して、合計465人の小学生が工場見学を行った。昨年より2校、54名の増加となった。これからも地元小学校への協力を行う。		
化学物質（PRTR制度対象物質）の適正管理（前年以下）	1 化学物質の適正管理	化学物質は主に塗装関係に使用しているが、作業者の安全と無駄な使用が無い様に注意している。	製造部
	2 ディーゼルエンジン排気ガス浄化装置の導入	掘取機生産時、今までは調整と走行試験を行うステーションのディーゼルエンジンの排気ガスを工場内に排出しているため作業者の健康を害する恐れがあった。肺がんや喘息の原因となるNox、亜硫酸ガスを75%除去することができる排気ガス浄化装置を導入した。	
	【評価】エチルベンゼン8%削減、キシレン8.6%削減、トルエン11%削減となった。生産の減に伴うと思われる。		

今年以降の目標（本社工場）

2016年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。

電力、上下水道、ガス・灯油、ガソリン・軽油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。紙を大切に使用します。製品を置いている鉄枠について出来る限り回収を行い再利用に努めます。

国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。

人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。

グリーン購入を進めます。

各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2016年度以降の目標値(前年比) 年間(1～12月)

	2016年度	2017年度	2018年度
電力使用量 (kwh/年)	維持	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	維持	維持	維持
灯油使用量 (kl/年)	維持	維持	維持
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(帳票)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(コピー用紙)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
上水道使用量 (t/年)	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	維持	維持	維持
キシレン(kg/年)	維持	維持	維持
トルエン(kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		
ガソリン使用量(l/年)	2%減	2%減	2%減
軽油使用量(l/年)	2%減	2%減	2%減
鉄枠回収量(t)	維持	維持	維持

2016 年度の取組内容（本社工場）

2016 年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項 目	取 組 内 容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、デマンド管理、太陽光発電の利用
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしかなないゴミの焼却量	紙分別の徹底、分別実態の調査
紙（帳票）使用量	必要なもののみ出力
紙（コピー用紙）使用量	必要なもの（部数）のみ出力、裏紙の再利用、電子媒体の利用
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、車載型安全装置による意識改革
鉄枠回収量	積極的に回収を行う

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2015 年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要 求 事 項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC 濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR 法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車 Nox・PM 法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS 指令	有害 6 物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○
12	道路交通法	安全運転、運転日報、積載量	○
13	道路法	荷崩れ防止の為の固定ベルト使用	○
14	道路運送車両法	定期点検整備	○
15	フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
16	労働安全衛生法	決められた管理者の選任	○

関係機関や地域周辺等から特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

2015年環境活動内容と評価及び今年以降の目標（営業所、出張所、物流センター）

- 北海道営業所
- 旭川出張所
- 帯広出張所

- 東北営業所

- 関東営業所

- 長野営業所、物流センター（同一建物）

- 岡山営業所

- 九州営業所
- 南九州出張所

以上の順で次頁より

代表者による全体の評価

2015年は車速連動の新しい規格であるAGポートに対応した搭載型シーダー、耕耘と農薬散布を同時に行う複合作業とモータ制御による高精度散布及び新拡散板方式による薬剤の飛散防止ができるロータリーソーワ、今までの技術を応用することで低い回転数ですき込み能力を大幅にアップすることができたグラウンドロータリーを製品化しました。このような製品により、省エネ化と高効率を目指し、環境保全型農業を支援していけると考えます。

国内農業は、消費税増税後、駆け込み需要の反動・米価の低迷の影響が長引いた状態が続き、米の消費の減少、農家戸数の減少、農業従事者の高齢化など状況は芳しくありません。今後は、稲作農家は大規模農家に集約され、ICT技術の導入により、農業の生産性の向上、低コスト生産体制への変化に対応し、市場ニーズを的確にとらえて取り組んでいく必要があります。

環境負荷については、昨年度と比較して全般的に減っています。全社において環境負荷への意識が定着しているのを見受けることができます。これからも本社だけでなく各営業所での活動も活発に行っていきたいと思えます。

平成27年度 北海道営業所 環境活動報告

作成日: 3月2日
作成者: 小玉

平27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	27年目標	26年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,703	3,587	3,107	3,103	3,602	2,035	2,348	2,658	2,780	2,194	2,620	3,320	35,057	32,000	35,706	98.2%
昨年使用実績	3,688	3,505	3,693	3,083	3,572	2,420	2,370	2,475	2,537	2,263	3,026	3,074	35,706			
水道(m)		10		12		21		22		11		13	89	100	102	87.3%
昨年使用実績		10		10		23		23		19		17	102			
LPG(m)	0.8	0.8	0.8	0.5	0.9	0.4	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	5.8	6.8	7.0	82.9%
昨年使用実績	0.7	0.8	0.4	0.8	0.7	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	7.0			
灯油(ℓ)	592	879	708	666							642	1,424	4,911	4,300	4,547	108.0%
昨年使用実績	584	686	686	667						781	665	478	4,547			
コピー用紙 A3(枚)	5,000			5,000	10,000		5,000	5,000		5,000			5,000			
コピー用紙 A4(枚)													35,000			
コピー用紙 B4(枚)								5,000					0			
コピー用紙 B5(枚)				5,000	5,000			5,000					15,000			
コピー用紙計(枚)	5,000	0	0	10,000	15,000	0	5,000	15,000	0	10,000	0	0	60,000	45,000	46,000	130.4%
昨年使用実績		5,000	8,000	1,500	15,000	0	0	0	11,500	0	5,000	0	46,000			
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													68,530	* 排出係数0.485(北海道電力H23年)		
前年実績													35,774			

平成27年度 取組み内容及び 評価

	取組み内容	評価
電気	unnecessary 電気はこまめに消す。特に玄関	目標は達成できなかった。倉庫内、玄関口と不要時には消し、更なる削減に努めたい。
水道	食器、雑巾洗いは水をためて行う	目標値の達成ができた。
LPG	ガス量、温度共に小にする	目標値の達成ができた。
灯油	ストーブの温度を上げ過ぎない。不要時は消す	倉庫内のストーブを新しくしたせいか灯油使用量が上がってしまった。気を付けたい。
コピー用紙	コピー用紙の裏面使用に徹する	研修会等でコピー用紙使用が多くなった。裏面使用は継続して行っている。

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	31,000	30,500	30,000	無駄な電気は消す。
水道(m)	98	96	94	食器、雑巾洗いは水をためて行う
LPG(kg)	6.7	6.6	6.5	ガス量、温度共に小にする
灯油(ℓ)	4,200	4,100	4,000	ストーブの温度を上げ過ぎない。不要時は消す
コピー用紙(枚)	44,000	43,000	42,000	コピー用紙の裏面使用に徹する

項目	単位	目標	27年実績	割合(%)
電気	kwh	32,000	35,057	10
水道	m	100	89	-11
LPG	m	7	6	-15
灯油	ℓ	4,300	4,911	14
コピー用紙	枚	45,000	60,000	33

平成27年度 旭川出張所 環境活動報告

作成日: 3月2日
作成者: 樋口

平27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	27年目標	26年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	1,486	1,438	1,425	1,478	1,612	977	1,065	1,142	1,127	950	1,403	1,218	15,321	16,000	16,171	94.7%
昨年使用実績	1,557	1,494	1,475	1,403	1,680	1,089	1,216	1,155	1,154	1,134	1,446	1,368	16,171			
水道(m)													地下水使用			
昨年使用実績																
灯油(ℓ)	502	674	369	307	117	151		90		172	273	493	3,148	3,000	3,120	100.9%
昨年使用実績	530	576	911	245	194	196				200	90	178	3,120			
コピー用紙 A2(枚)			1,500										1,500			
コピー用紙 A4(枚)			2,500							5,000			7,500			
コピー用紙 B4(枚)													0			
コピー用紙 B5(枚)													0			
コピー用紙 A5(枚)			5,000						1,500				6,500			
コピー用紙計(枚)	0	0	9000	0	0		0	0	1500	5,000	0	0	15,500	1,000	1,000	1550.0%
昨年使用実績						1000							1,000			
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	17,969	* 排出係数0.485(北海道電力H23年)	
													前年実績	29,085		

平成27年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	昼食時は消灯をする。こまめに消す	不要時事務所と倉庫の電気を消した
水道		
灯油	ストーブの温度を上げ過ぎないようにする	厚着をして上げないようにした
コピー用紙	印刷ミスを減らす。裏面使用をする	印刷時裏面使用に徹した

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	16,000	15,900	15,800	昼食時は消灯する。こまめに消す
水道(m)				
灯油(ℓ)	3,000	2,900	2,800	ストーブの温度を上げ過ぎないようにする
コピー用紙(枚)	1,000	1,000	1,000	印刷ミスを減らす。裏面使用をする

項目	単位	目標	27年実績	割合(%)
電気	kwh	16,000	15,321	-4
灯油	ℓ	3,000	3,148	5
コピー用紙	枚	1,000	15,500	1450

平成27年度 帯広 環境活動報告

作成日: 3月2日
 作成者: 井上

平27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	27年目標	26年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	791	704	637	559	544	439	495	541	567	452	644	641	7,014	6,400	6,415	109.3%
昨年使用実績	774	696	648	466	476	424	479	440	426	423	593	570	6,415			
水道(m ³)	4	5	4	4	8	5	7	5	4	5	8	5	64	52	49	130.6%
昨年使用実績	4	3	4	3	5	4	5	6	4	3	4	4	49			
LPG(kg)	0.6	0.8	0.9	0.3	0.5	0.6	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.5	6.1	4	3.5	174%
昨年使用実績	0.6	0.1	0.4	0.4	0.2	0.3	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	3.5			
灯油(ℓ)	237	316	63		99							53	768	1,500	1,557	49.3%
昨年使用実績	225	367	319	119						54	173	300	1,557			
コピー用紙 A3(枚)								2,500					2,500			
コピー用紙 A4(枚)	5,000							5,000					10,000			
コピー用紙 B4(枚)													0			
コピー用紙 B5(枚)													0			
コピー用紙A5(枚)													0			
コピー用紙 計(枚)	5,000	0	0	0	0	0	0	7,500	0	0	0	0	12,500	7,500	7,500	166.7%
昨年使用実績						5,000		2,500					7,500			
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	6,783	* 排出係数0.485(北海道電力H23年)	
													前年実績	20,190		

平成27年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	こまめに不要電気の消灯(夏場のエアコン設定28℃)	不要電気の消灯。帰社時の消灯を心掛けた
水道	貯めすぎを心掛ける	洗濯機購入したため、水道使用量が増えてしまった
LPG	使用時のみの点火	製品洗車に関わる時の使用量が増えました
灯油	厚着を心がけ、玄関をこまめに閉めて外気を遮断	厚着を心掛け、玄関をこまめに閉めて外気を遮断
コピー用紙	裏紙再利用、まとめて印刷できるものはまとめる。カタログ印刷は安価な印刷屋さんへお願いする。	研修会等の資料が多い、旅費精算は各人裏紙の使用に心掛けて頂きたい

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	6,350	6,300	6,250	不要電気の消灯(夏場のエアコン設定28℃にする)
水道(m ³)	52	51	50	貯めすぎを心掛ける
LPG(kg)	4	3.8	3.5	使用時のみの点火
灯油(ℓ)	1,450	1,400	1,350	厚着に心がける、出入り玄関をこまめに閉める
コピー用紙(枚)	7,300	7,200	7,000	裏紙再利用の徹底

項目	単位	目標	27年実績	割合(%)
電気	kwh	6,400	7,014	10
水道	m ³	52	64	23
LPG	m ³	4	6	53
灯油	ℓ	1,500	768	-49
コピー用紙	枚	7,500	12,500	67

平成27年度 東北営業所 環境活動報告

作成日 2016/12/16
作成者 高橋ひとみ

平成27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	27年目標	26年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	4,551	4,919	4,533	5,369	5,281	4,504	4,464	3,389	3,073	2,993	3,377	4,221	50,674	51,000	49,504	102
昨年使用実績	4,077	5,030	4,598	5,359	4,740	4,300	4,000	3,560	2,981	3,034	3,758	4,067	49,504	(4%削減)		
水道(m³)	14	22	19	16	25	36	26	39	16	18	19	15	265	215	262	101
昨年使用実績	12	14	70	15	19	18	22	21	20	19	18	14	262	(2%削減)		
LPG(m³ or kg選択)	238	329	276	197	44	25	102	263	59	16	68	198	1,813	1,900	1,888	96
昨年使用実績	226	326	315	184	48	29	91	190	87	62	92	238	1,888	(2%削減)		
灯油(ℓ)	412	479	263						270		238	220	1,882	1,900	1,864	101
昨年使用実績	380	377	287	0	0	0	0	0	170	0	205	445	1,864	(2%削減)		
コピー用紙計(kg)	0	41	0	41	0	61	0	0	0	0	61	0	204		50,000	100
コピー用紙A3(枚)													0		0	#DIV/0!
コピー用紙A4(枚)		10,000		10,000		15,000					15,000		50,000		50,000	100
コピー用紙B4(枚)													0		0	#DIV/0!
コピー用紙B5(枚)													0		0	#DIV/0!
コピー用紙計(枚)	0	10,000	0	10,000	0	15,000	0	0	0	0	15,000	0	50,000	50,000	50,000	100
昨年使用実績	0	0	15,000	0	0	15,000	0	0	0	15,000	0	5,000	50,000	(前年維持)		
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)													47067		48385	97.276015

*排出係数: 0.455 (東北電力 H23年)

平成27年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 席を離れる時蛍光灯やPC画面をOFFにする	前年比を若干上回ったものの目標は達成。消灯や冷暖房器具の節電に対し、個々ではばらつきが見受けられる為、今後は全員が積極的に取り組むよう活動していきたい。
水道	定期的の上水道の漏水をチェックする 洗濯の水位を低めに設定する	目標値の設定が低すぎたこともあり、数字は達成できず。使用量は昨年とほぼ同じだったが、今後削減につながる取り組みがないか再検討が必要。
LPG	エアコンの設定温度を厳守し使用を控えめにする。 ウォームビズ・クールビズを実施 エアコンフィルターの掃除・点検	今年は14年ぶりにエアコンの分解洗浄を行った。空気を効率よく循環させクリーンな環境のもと仕事の効率もUPし、環境にも良い取り組みが出来た。目標も達成。
灯油	工場で作業中、その場を離れる時はストーブを止める。	この冬は暖冬でストーブなどの暖房機器の使用開始時期を少し遅らせたことで灯油の使用量が削減できた。今後も使用量を維持していきたい。
コピー用紙	社内文書は両面印刷 FAX文書の裏面再利用 必要部数のみ印刷徹底 保管期間7年を過ぎた帳票類を裏紙として再利用	コピー用紙も目標を達成。11月以降は年間目標数をオーバーしないよう、過去の帳票類の裏面再利用を積極的に行った。次年度も年間目標を念頭に置きながら取り組みたい。

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度取組内容
電気(Kwh)	51,000	51,000	51,000	前年度の取組を継続
水道(m³)	260	260	260	前年度の取組を継続
LPG(m³ or kg選択)	1,900	1,900	1,900	前年度の取組を継続
灯油(ℓ)	1,900	1,900	1,900	前年度の取組を継続
コピー用紙(枚)	50,000	50,000	50,000	前年度の取組を継続

平成27年度 関東(営) 環境活動報告

作成日: 2015/12/2

作成者: 熊倉唯好

平成27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	27年目標	26年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	4,014	5,076	5,163	5,305	4,312	3,813	3,862	4,789	3,940	3,398	4,721	4,746	53,139	57,636	58,812	90
昨年使用実績	5,069	6,318	5,732	5,534	4,723	4,811	4,487	4,318	4,169	3,774	4,781	5,096	58,812			
水道(m ³)	140		17		45		48		42		46		338	456	465	73
昨年使用実績		85		156		50		42		43		89	465			
LPG(m ³ or kg選択)	514	682	533	359	18	20	105	697	215	8	21	350	3,522	3,487	3,558	99
昨年使用実績	504	670	539	174	68	81	182	469	213	5	95	558	3,558			
灯油(L)	190	190	190									195	765	980	1,000	77
昨年使用実績	400	400										200	1,000			
コピー用紙A3(枚)	130	804	130	105	183	126	253	73	110	95	161	172	2,342			
コピー用紙A4(枚)	3,538	2,828	2,962	4,063	3,121	3,224	3,312	3,855	2,040	1,948	3,052	2,288	36,231			
コピー用紙B4(枚)	132	64	98	85	84	78	61	87	170	101	147	60	1,167			
コピー用紙B5(枚)	540	608	845	589	694	518	666	488	386	558	722	416	7,030			
コピー用紙計(枚)	4,340	4,304	4,035	4,842	4,082	3,946	4,292	4,503	2,706	2,702	4,082	2,936	46,770	66,767	68,130	69
昨年使用実績	8,846	5,245	7,197	7,833	5,190	6,247	6,026	4,086	2,738	6,420	4,626	3,676	68,130			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)													40899		45133	91

*排出係数:0.455(東京電力 H23年)

平成27年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す	所員全員が意識を持って行動出来た
水道	出しっぱなしの防止(1月漏水確認遅れた)	無駄な水は使用禁止が出来た
LPG	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度	設定温度の厳守に努めた
灯油	暖房用灯油の節約	無駄のない暖房に努めた
コピー用紙	極力、裏紙を利用する	ある程度意識を持って再利用出来た

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度取組内容
電気(Kwh)	維持	維持	維持	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す
水道(m ³)	266	維持	維持	出しっぱなしの防止、漏水の定期的な確認
LPG(m ³ or kg選択)	維持	維持	維持	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度
灯油(L)	維持	維持	維持	暖房用灯油の節約
コピー用紙(枚)	維持	維持	維持	極力、裏紙を利用する

平成27年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	57,636	53,139	-8
水道	m ³	456	338	-26
LPG	kg	3,487	3,522	1
灯油	L	980	765	-22
コピー用紙	枚	66,767	46,770	-30

平成27年度 長野営業所・物流センター 環境活動報告

作成日:28/1/
作成者:相馬

平成27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)	3,298	2,877	2,683	2,802	2,995	2,172	2,116	2,440	2,012	2,036	2,493	2,623	30,547
前年比	105%	94%	95%	99%	98%	103%	103%	78%	109%	101%	100%	104%	98%
水道(m ³)		62		68		78		76		56		70	410
前年比		81%		94%		96%		83%		79%		127%	92%
LPG(kg)	470	440	410	320	180	98	162	272	278	90	2	138	2,860
前年比	109%	81%	62%	77%	114%	181%	90%	73%	117%	76%	11%	88%	86%
灯油(ℓ)	2759.3	2027.4	2109.6	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	558.9	1,246.7	1,953	10,655
前年比	80%	44%	65%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	66%	126%	69%
*排出係数0.455(中部電力H20年)										二酸化炭素排出量(kg-CO2)			63245
										昨年実績			76670

コピー用紙A3(枚)			500			500					500	0	1,500
前年比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	100%	0%	43%
コピー用紙A4(枚)	9,000	10,500	9,500	19,500	16,000	15,000	10,000	13,500	9,500	2,000	13,000	12,000	139,500
前年比	150%	131%	211%	139%	267%	150%	91%	208%	158%	24%	236%	120%	145%
コピー用紙B4(枚)			500								500	0	1,000
前年比	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	50%
コピー用紙B5(枚)		500		1,000	500	1,000	2,500			12,000	1,500	1,000	20,000
前年比	#DIV/0!	#DIV/0!	0%	100%	#DIV/0!	100%	500%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	300%	200%	444%
コピー用紙A5(枚)	12,000	2,500	4,000	8,000	5,000	7,000	5,000	1,000	3,000	14,000	3,000	0	64,500
前年比	240%	500%	80%	80%	67%	700%	125%	100%	150%	400%	150%	0%	143%

コピー用紙 計(kg)	60.7	49.4	56.4	98.6	76.8	84.9	58.4	57.1	44.8	72.6	73.3	52.0	785.0
コピー用紙 計(枚)	21,000	13,500	14,500	28,500	21,500	23,500	17,500	14,500	12,500	28,000	18,500	13,000	226,500
前年比	191%	142%	145%	112%	154%	196%	113%	181%	139%	207%	218%	90%	150%

平成27年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF	目標に対して1.6%削減ができた。引き続き活動を継続する。
水道	漏水チェック	目標に対して8.5%の削減ができた。引き続き活動を継続する。
LPG	エアコン設定温度管理 ウォームビズ、クールビズの実施	エアコンの空気を攪拌するハイブリッドファンを取付けた。目標に対して1.6%削減する事ができ、気温の関係もあるが引き続き活動を継続する。
灯油	組替場等の温度管理	目標に対して44.8%と大きく削減できた。LPGと同じく気温に影響されるが、引き続き暖房機の適切な使用を心掛ける。
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底	昨年に比べ、大幅に増加した。特にB5用紙の使用が多く、裏紙使用と必要部数のみ出力の徹底をしていく。

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度取組内容
電気(Kwh)	31020	31010	31000	必要の無い電気・電源のOFF
水道(m ³)	446	444	442	漏水チェック
LPG(kg)	2900	2895	2890	エアコン設定温度管理 ウォームビズ、クールビズの実施
灯油(ℓ)	10655	10650	10600	組替場等の温度管理
コピー用紙(枚)	226000	225500	225000	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底

平成27年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	31,030	30,547	-1.6
水道	m ³	448	410	-9.3
LPG	kg	2,905	2,860	-1.6
灯油	ℓ	15,426	10,655	-44.8
コピー用紙	枚	151,008	226,500	33.3

平成27年度 岡山営業所 環境活動報告

作成日: 2016/2/1
作成者: 福井 恵美子

平成27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)	1114	1036	987	885	828	806	912	1215	806	835	1259	1144	11827
水道(m ³)	19		21		41		32		16		25		154
LPG(m ³)	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2	0.2	0	0	0.2	0.2	0.2	0.4	3
灯油(ℓ)	253	171	184	89							29	116	842
コピー用紙A3(枚)		500					500			1500			2500
コピー用紙A4(枚)		5000			5000		5000			2500	5000		22500
コピー用紙B4(枚)													0
コピー用紙B5(枚)													0
コピー用紙 計(枚)	0	5500	0	0	5000	0	5500	0	0	4000	5000	0	25000
* 排出係数0.657(中国電力H23年)												二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	11918
												前年実績	11850

平成27年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	社内、屋外の照明や電気器具のスイッチをこまめに切り、空調等も節電する。	電器器具の切忘れ、(電燈、空調)があるので注意喚起が必要。
水道	節水に心掛ける。	実演機の洗車も客先での洗車が望ましいが、かなり難しいです。
LPG	ガスの使用頻度は低いのでこれからも無駄の無い様にする。	継続します。
灯油	おもに暖房に使用の為、遮熱フィルム等を使い、戸の開閉等も速やかにする。	換気等にも注意しながら、設定温度を保てるようにします。
コピー用紙	裏紙の使用。ペーパーレスを意識する。	定着した感はありますが、裏紙の扱いが雑に思える時があるので注意して行きたい。

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度取組内容
電気(Kwh)	10500	10000	9500	エコアクションの理解を深めてもらい、節電を意識してもらう。
水道(m ³)	94	92	90	実演機、社有車の洗車の効率を上げる
LPG(kg)	3.5	3.5	3.5	月に使う回数が数回のため、極限に近いと思います。
灯油(ℓ)	930	900	880	暖房器具のこまめな温度調整で減らしていく。
コピー用紙(枚)	35000	33000	31500	意識付けをし、使用を減らしていく。

項目	単位	目標	27年実績	割合(%)
電気	kwh	11000	11827	8
水道	m ³	96	154	60
LPG	m ³	3.5	3	-14
灯油	ℓ	950	842	-11
コピー用紙	枚	36000	25000	-31

平成27年度 九州営業所 環境活動報告

作成日: 2016年4月10日
 作成者: 福永 美奈子

平成27年度(1月~12月) 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年実績
電気(Kwh)	4779	3806	3999	3499	2519	3155	3908	3210	3751	2615	2789	4130	42160	43457
水道(m ³)	25	25	29	24	38	26	29	35	24	19	25	21	320	326
コピー用紙 A3(枚)		250											250	1500
コピー用紙 A4(枚)	2500	2500	5000	5000	2500	5000	2500		2500	2500	2500	2500	35000	35000
コピー用紙 A5(枚)	5000	5000	10000	10000	10000	15000		10000	10000	10000	10000	5000	100000	95000
コピー用紙 B4(枚)													0	0
コピー用紙 B5(枚)													0	2500
コピー用紙 計													135250	134000
LPG(kg)	0.5	1.2	1.3	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	4.3	5.0
灯油(ℓ)	200	200	140	0	0	0	0	0	0	0	0	145	685	620
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													23,913	24,418

* 排出係数0.525(九州電力 H23年)

平成27年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	不要な電気を消す エアコンの温度管理	目標達成
水道	漏水の確認	目標達成
紙	裏紙の再利用	努力必要
LPG	ガスの利用を控える	目標達成
灯油	倉庫暖房の温度管理	努力必要

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度取組内容
電気(Kwh)	42500	42000	41500	前年度以下に抑える
水道(m ³)	315	310	305	前年度以下に抑える
紙(枚)	132000	131000	130000	前年度以下に抑える
LPG(kg)	5	5	5	取組の継続
灯油(ℓ)	600	600	600	取組の継続

平成26年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	43,000	42,160	-2
水道	m ³	320	320	0
LPG	m ³	5	4	-14
灯油	ℓ	600	685	14
コピー用紙	枚	133,000	135,250	2

平成27年度 南九州出張所 環境活動報告

作成日 平成28年10月24日
作成者 高木忠孝

平成27年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年実績
電気(Kwh)	1888	1667	1483	1042	989	1256	1341	1819	1578	1021	1143	1476	16703	17585
水道(m ³)		32		23		29		29		29		29	171	212
LPG(kg)	0.4	0.3	0.5	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0	0.1	2.4	5.9
灯油(ℓ)	46	45											91	60
コピー用紙 計(kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コピー用紙A3(枚)						1000							1000	0
コピー用紙A4(枚)					5000					2500		5000	12500	15000
コピー用紙A5(枚)								5000					5000	0
コピー用紙B4(枚)													0	4000
コピー用紙B5(枚)						2500							2500	5000
コピー用紙 計(枚)	0	0	0	0	5000	3500	0	5000	0	5044	0	5000	21000	24000
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													12402	13747

*排出係数0.525(九州電力 H23年)

平成27年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い場所の電源OFF	営業担当の出張時のデスク周り電源OFF 倉庫内のポイント消灯
水道	無駄水の利用減 漏水チェック	必要減で実施できた
LPG	無駄な使用を控える	昼時の使用のみ
灯油	組替場の暖房について効率的に使用する	使用量が増加してしまったので効率的な使用を行っていく
コピー用紙	A4の裏紙再利用 メモ用紙として再活用	裏紙利用の定着 無駄な印刷を減らすとできた

次年度以降の目標

	平成28年	平成29年	平成30年	次年度取組内容
電気(Kwh)	16700	16700	16700	取組の継続
水道(m ³)	171	170	170	取組の継続
LPG(kg)	2.4	2.4	2.4	取組の継続
灯油(ℓ)	60	60	60	取組の継続
コピー用紙(枚)	21000	20000	20000	取組の継続

平成27年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	17,585	16,703	-5.0%
水道	m ³	212	171	-19.3%
LPG	kg	3	2.4	-29.4%
灯油	ℓ	60	91.00	51.7%
コピー用紙	枚	24,000	21,000	-12.5%